

熊野古道 伊勢路

①荷坂峠（にさかとうげ）

距離/約7.5km（大紀町～紀北町） 歩行時間/約2：30 標高/241m

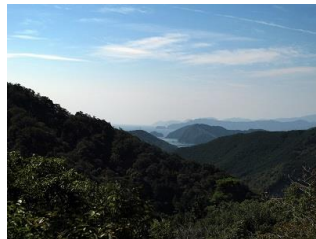
江戸時代中期、徳川吉宗の時代に紀州藩の街道整備に伴って「紀伊の国」への正式な玄関口となりました。勾配はゆるく、道幅も広いので歩きやすい道です。峠を越えてからの紅葉樹やシダの多い自然道では、季節の移ろいが目を楽しませてくれます。



憩い石



オンツツジの道



沖見平



猪垣

②ツツラト峠（つづらととうげ）

距離/約9.5km（大紀町～紀北町） 歩行時間/約4：00 標高/357m

かつて「伊勢の国」と「紀伊の国」の国境だった峠です。江戸時代以降、荷坂峠道が正式な紀州の玄関口となってからも、昭和初期まで生活道として使われました。ツツラトとは九十九折のことで、カーブが連続しますが、石畳や石垣もよく保存されています。



三十三所観音石像群



ツツラト峠



野面乱層積みの石垣

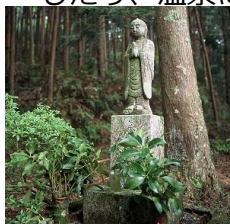


石畳

③一石・平方峠・三浦峠道（熊ヶ谷道） いっこく・ひらかたうげ・みうらとうげみち（くまかやみち）

距離/約7.6km（紀北町） 歩行時間/約3：00 標高/113m

紀北町加田から三浦まで、一石峠・平方峠・三浦峠の3つの峠を越えます。紀伊の松島など熊野灘の美しい景色を楽しめる、なだらかなコースです。古里、道瀬などの素朴な海辺の町を散策したり、温泉に立ち寄るのもオススメです。



お地蔵様



サボ鼻道展望台



若宮神社



道瀬海岸

④始神峠（はじかみとうげ）

距離/約3.5km（紀北町） 歩行時間/約1：50 標高/147m

サンショウウオを意味する「椒」（はじかみ）が峠の名前の由来。江戸道コースと明治道コースがあり、始神峠で合流します。どちらも比較的歩きやすい道ですが、江戸道は少しきついです。峠の展望台からは紀伊の松島と呼ばれる島々を一望できます。



明治道石積み



始神峠



峠の展望台



江戸道

⑤馬越峠（まごせとうげみち）

距離/約5.2km（紀北町～尾鷲市） 歩行時間/約2：45 標高/325m

重厚な自然石が折り重なるように敷き詰められた石畳は、日本でもトップクラスの雨量を誇る尾鷲の雨から道を守ってきました。峠からは、頂上の絶景が素晴らしい天狗倉山や便石山への登山コースが整備されているので、余裕があれば寄り道してみましょ。



夜泣き地藏



石橋と石畳



可涼園桃乙句碑



馬越公園展望台

⑥八鬼山越え（やきやまごえ）

距離/約10.1km（尾鷲市） 歩行時間/約5：00 標高/647m

西国一の難所といわれ、かつては山賊や狼が出没して巡礼者を苦しめました。八鬼山越えでは、いたるところで石仏に出会えます。史跡も多く絶景も望めますが、登り・下りともに厳しい道です。体力に自信のある方は、昔の巡礼者の気分を味わってみてください。



七曲り



荒神堂と万宝院の墓



さくらの森広場



巡礼供養碑

⑦三木峠・羽後峠（みきとうげ・はごとうげ）

距離/約6km（尾鷲市） 歩行時間/約3：00 標高/140m

近年、地元の方々によって発掘されました。自然道はところどころで寸断されていますが、木々の間から海が見える、眺めの良い道です。峠から延々と続く見事な猪垣は、当地方最長と言われ、そこに暮らした人々の存在を物語っています。



道標



展望峰



猪垣



賀田羽根の五輪塔

⑧曾根次郎坂・太郎坂：

距離/約5.7km（尾鷲市～熊野市） 歩行時間/約3：00 標高/305m

中世の頃は志摩の国と紀伊の国の境、現在は尾鷲市と熊野市の境である甫母峠を超えるコースです。曾根の貴重な史跡を巡るほか、古道では美しい石畳や猪垣などに会えます。八鬼山を越えた後の峠越えは困難だったのか、道沿いには行き倒れの巡礼供養碑が佇んでいます。



曾根弾正墓



猪垣



石切場跡



甫母峠（ほうじ茶屋跡）

⑨ 二木島峠・逢神坂峠 (にぎしまとうげ・おうかみざかとうげ)

距離/約5.7km (尾鷲市～熊野市) 歩行時間/約3:00 標高/305m

「逢神」とは、伊勢と熊野の神が出会う場所という意味で、かつては狼が出没したためという説もあります。古くから捕鯨の里として知られる二木島から古道にはいると、ほぼ全区間に苔むした石畳が通じています。



巡礼供養碑群



田んぼ跡と猪垣



逢神坂峠



新鹿海岸の遠望

⑩ 波田須の道・大吹峠 (はだすのみち・おおぶきとうげ)

距離/約8km (熊野市) 歩行時間/約3時間 標高/205m

波田須は徐福伝説が残る伝説と神話の里。徐福が求めた不老不死の薬だといわれる天台鳥薬の木は、波田須神社や徐福の宮周辺に植えられています。史跡を巡り、悠久の時を感じることができます。大吹峠には熊野古道にはめずらしい竹林が広がる竹林の古道です。



鎌倉期の石畳



徐福の宮



御足跡水



文字岩



竹林

⑪ 観音道 (かんのんみち)

距離/約4.1km (熊野市) 歩行時間/約1:45 標高/135m

観音信仰が盛んな時代は大吹峠道を通らずに、道の傍らに両国三十三所の観音石像が立ち並ぶ観音道がよく使われました。かつて、観音様の命日には多くの人が参り、お寿司やおはぎを売る店も出て、大変な賑わいだったということです。



観音道登り口



6体の石像



馬鎮観音



清泰寺の観音石像

⑫ 松本峠

距離/約4.1km (熊野市) 歩行時間/約1:45 標高/135m

ほとんどの道に美しい石畳が残り、竹林に囲まれた峠では、等身大ほどのおおきなお地蔵様が出迎えてくれます。松本峠を越えれば、浜街道を経て新宮まで峠越えはありません。かつての巡礼者が、七里御浜の向こうの新宮に鎮座する熊野速玉大社に思いを馳せたであろう場所です。



江戸の石畳



松本峠



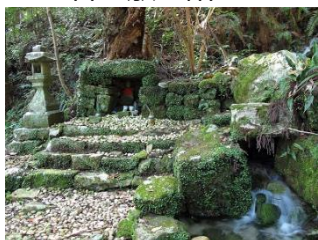
東屋からの眺望



獅子岩

⑬横垣峠道（よこがきとうげみち）

距離／約5.4 km（御浜町） 歩行時間／約2時間10分 標高／305m
熊野古道伊勢路は、花の窟神社が鎮座する熊野市有馬で、海岸沿いに新宮を目指して南下する浜街道と、本宮を目指す本宮道に分かれます。本宮道の横垣峠道では、この地特有の神木流紋岩が敷き詰められた石畳が整然と続きます。



水壺地蔵と湧き水



横垣峠



神木流紋岩の石畳道



亀島の石灯笼

⑭風伝峠（ふうでんとうげ）

距離／約4.1 km（熊野市・御浜町） 歩行時間／約1時間30分 標高／257m
海辺と山村を結ぶ要路だった峠。苔むした石畳が続き、麓では秋から春にかけて巨大な朝霧「風伝おろし」が見られる。巡礼者だけでなく海の幸を山里に届ける人や、山の幸を海沿いの里に届ける人が行交った往時を思われます。



風伝嵐（おろし）



尾呂志城跡



石畳道



風伝峠と法界塔

⑮通り峠（丸山千枚田）（とおりとうげ）

距離／約7.9 km（熊野市） 歩行時間／約2時間20分 標高／390m
風伝峠を降りると、本宮へ向かう本宮道と吉野方面へ向かう北山道に分かれます。世界遺産登録の対象ではありませんが、古くから生活道として使われ、海の幸と山の幸が行き交った道です。丸山千枚田の中の道を歩きながら、里山の暮らしが息づく風景を堪能できます。



石畳道



展望台



通り峠と子安地蔵



大岩

⑯浜街道（はまかいどう）

距離／約26.6 km（熊野市・御浜町・紀宝町） 歩行時間／約9時間
熊野市街から七里御浜に沿って、熊野速玉大社が鎮座する新宮を目指すのが浜街道。峠越えはありませんが、距離が長いので体力が必要です。海岸沿いや、少し山側の見晴らし良い高台を歩くと、川の熊野古道と熊野川に出ます。熊野川の向こうは熊野権現の聖地です。



浜辺の水神塔



市木一里塚跡



加持鼻王子権現跡



成川の渡し跡

⑰熊野川（くまのがわ）

距離／約5.4 km（御浜町）

歩行時間／約2時間10分

標高／305m

熊野川は川の熊野古道として世界遺産に登録されている。三反帆で熊野川を体験し、比丘尼転びや釣鐘石など、奇怪な自然の造形物を眺めながら熊野川を実感できる。熊野川沿いに、川端（川丈）街道（※平成27年7月現在、通行不可）があります。



三反帆



熊野川

